

氏名	新村洋未	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士（保健学）				
学歴	1992年埼玉県立衛生短期大学第一看護学科、1992年埼玉県立衛生短期大学専攻科地域看護学専攻、2003年群馬大学大学院医学系研究科修士課程				
経歴	1992年社会保険埼玉中央病院保健師、1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2015年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本人間工学会、日本看護科学学会、日本看護技術学会、日本看護学教育学会、日本看護研究学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	はじめて学ぶケーススタディ 第2版 －書き方のキホンから発表のコツまで－	共著	あり	総合医学社、p.261	國澤尚子、新村洋未、水間夏子、 畔上光代、武田美津代、高橋綾、 大塚真理子、青木恭子、森田牧 子、服部真理子	2020.11
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	シート型体振動計を用いた一人暮らし高齢者の睡眠の見守りと訪問支援の検討	共同	第27回日本時間生物学会 学術大会、オンライン開催	○久保田富夫、林裕栄、武田美津代、新村洋未、畔上光代、滑川道人、三塩操	2020.9	
2	看護学生の気づきを引き出す看護技術学習プログラムの作成と評価－オンライン協同学習を取り入れた採血技術学習の試行－		2020年度埼玉県立大学奨励 研究発表会、抄録集	○新村洋未	2021.2	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	看護研究		2	3年次生を対象に、「実験研究の概要と方法」、「SPSSを用いた統計処理の方法」について事例を交えて、具体的にイメージできるように工夫した教材を用いて講義を行った。（オンライン）		
2	大学院 看護研究		2	大学院生（博士前期 看護学専修）を対象に、統計解析概論、差を決定するための統計をテーマとした授業を担当した。履修者のプレゼンテーション・討議のあと、解説を加え、主体的に理解ができるよう支援をした。（オンライン）		
3	大学院 基礎看護技術・看護工学		3	大学院生（博士前期 看護学専修）を対象に、臥位姿勢の支援、注射器操作技術の習得を促す教授方法に関する講義を担当した。その後、日常の看護実践と研究とのつながりについて討議を行った。（オンライン）		
4	大学院 フィジカルアセスメント		6	大学院生（博士前期 看護学専修 CNSコース）を対象に、「臨床推論演習」として、事例を用いて臨床推論を理解するための授業展開を行った。科目担当者と協力しながら、ディスカッションによる理解が進むよう、教員が受講生の位置で参加するといった工夫を加え、ディスカッションの活性化を図った。（オンライン）		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	看護方法Ⅳ (診断治療の援助技術)	○	16	科目責任者として2年次生を対象に、検査や治療に伴う援助技術について根拠に基づいた実施ができるよう講義・演習を行った。オンライン環境での実技を含む学習のため、学生の意欲が低下しないようリアルタイムのデモンストレーションと自作の動画教材、自宅での技術学習をするための調整 (看護物品の郵送) など工夫を加えて、看護技術の知識・技術の理解が進むよう支援した。(オンライン)
2	看護方法Ⅱ (日常生活援助技術A)		16	2年生を対象とした科目において、科目責任者によるオンラインによる講義が円滑にできるよう、配信の支援と学生状況の把握を行った。(オンライン)
2	看護方法Ⅲ (日常生活援助技術B)		16	2年生を対象とした科目において、科目責任者によるオンラインによる講義が円滑にできるよう、配信の支援と学生状況の把握を行った。(オンライン)
3	看護方法Ⅴ (実践的看護展開)		16	1年生を対象とした科目において、科目責任者によるオンラインによる講義が円滑にできるよう、学生状況の把握を行った。(オンライン)
4	看護方法Ⅰ (看護の基本技術)		16	1年生を対象とした科目において、科目責任者と協力しながら環境調整技術、観察技術を理解、実践できるよう実技指導を行った。オンライン講義・演習では円滑に講義が配信できるよう、配信の支援、学生状況の把握を行った (オンライン+対面)
5	看護過程論		16	1年次生を対象にした科目において、オンラインによる講義が円滑にできるよう、配信の支援と学生状況の把握を行った。グループワークでは看護過程に必要な思考の方法が理解できるようかかわった。(オンライン)
6	感染管理		8	3年次生45名を対象に、感染管理の基本的知識、医療機関における感染管理の実践について、ゲストスピーカーによるオンライン講義とグループワークを取り入れながら教授した。オンラインでのグループワークが円滑に、活発に行われるよう介入を行った。(オンライン)

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	ヒューマンケア体験実習		2020.9	学内実習に切り替わった実習において、2グループ10名学生を担当し、グループワークのファシリテータ、指導を行なった。(オンライン)
2	基礎看護学実習Ⅱ		2020.10	学内実習に切り替わった実習において、2グループ11名の学生を担当し、看護過程の指導、グループワークのファシリテーター、および学内での看護技術の実践における技術指導を行った。感染防止策を講じながら、看護技術の体験の不足を補うよう活動を促した。(オンライン+対面)
3	基礎看護学実習Ⅰ		2021.2	学内実習に切り替わった実習において3グループ15名の学生を担当し、グループワークのファシリテーター、学習進行状況の確認と指導を行った。少ない体験を補うよう臨床現場の状況について解説を加えながら、学生の意欲を高めるようかかわった。(オンライン+対面)

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4~2020.12	主指導	4名 副指導 名

(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
	該当なし			

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県看護協会継続教育一般研修	埼玉県看護協会	ケアにつなげるフィジカルアセスメント	2020.9
2	越谷市立病院看護部研修	越谷市立病院看護部	看護研究	2020.6~12
3	高校出張講座	埼玉県立東松山女子高等学校	高校生のための看護学入門	2020.11

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県	新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所業務の応援	2021.1~3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	看護学科入試実施部会委員補佐		2020.4~2021.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス (6月、8月)		2020.6~8
3	学生支援	卒業生の就職継続・再就職支援		2020.4~2021.3
4	大学広報活動	Webオープンキャンパスプロジェクト		2020.5~6
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			